

佐々木昌夫展 拒絶の紙



「アンチノミーの灰IV」
制作年:2012年 素材:紙(新聞・本・雑誌等)、(火) 大きさ:110×164×H44(cm) 写真撮影:森下忠夫

芸術作品は鑑賞者に様々なイメージを与える。そこには必ず作家の意図があり、鑑賞者にメッセージを伝えようとしている。作品には視覚的に解りやすいものと解りにくいものがあるが、いずれにしても鑑賞者は何らかの刺激を受ける。

佐々木氏の制作意図は何か、私たちに何を伝えたいのか、その意図を読み取ることが出来るのだろうか。初期の制作活動では鉄が素材であったが、制作過程において鉄は錆やすく思い通りにならないことがあった。予測できない事態をコントロールするのではなく受け入れそれを作品に反映することにした。

佐々木氏は「新しいものを創造するということは、私の日常に既存するものを疑い、その背後に潜んでいる他性(他なる性質)と向き合うことによって可能となる」と語っている。

現に事実として存在している事柄・状態を捉えた上で自作の作品の果たす役割を思考し創作している。つまり、内なる意図は自然に生まれてくるのではなく、現実社会に起こりうる全てのことに触発され生まれてくるのである。創作することは生きた時代や生活環境に感化され、捉え方や考え方により制作に大きく影響する。

佐々木氏の作品の意図を見いだしていただけたらと思います。



「シーシュボスの矩形I」 制作年:2009年 素材:紙(新聞・本・雑誌等)、布、(火) 大きさ:277×347×D10(cm) 写真撮影:森下忠夫

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。

2016年11月1日開館

- 交通 東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km
バスの場合はJR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」下車 徒歩2分
新幹線JR新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車
*発車駅によって到着するバス停が異なりますのでお帰りの際はご注意ください。
- 駐車場 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。
*ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。



ふじ・紙のアートミュージアム
Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター1階
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>

2020.4/1(水) - 6/14(日)

| 開館時間 | 10:00 - 18:00

| 休館日 | 4/20(月)・5/18(月) ロゼシアター休館日を休館いたします。

| 観覧料 | 無料

特別講座 アーティストトーク 4/12(日) 10:00 - 11:00 申込不要・無料

佐々木昌夫 1964年 京都市に生まれる
1987年 滋賀大学卒業

個展

- 1989年 信濃橋画廊 (大阪) '09年、'10年
- 1990年 galerie 16 (京都) '10年、'12年、'13年、'16年、'17年、'18年、'20年
- 1992年 秋山画廊 (東京) '97年、'98年、'00年、'15年
- 2008年 海岸通ギャラリー CASO (大阪)
- 2015年 さばえ現代美術センター (福井)
- 2016年 ギャラリーヤマキファインアート (兵庫)
- 2019年 MU 東心斎橋画廊 (大阪)

主なグループ展

- 1985年 京都アンデパンダン展/京都市美術館 ~'91年
- 1992年 北陸中日美術展/石川県立美術館 '94年 <佳作 日成ビルド工業賞>、'95年、'98年
- 1993年 国際丹南アートフェスティバル ~'19年
'94年 <ヒットユニオン賞>、'96年 <優秀賞>、'97年 <土岡秀太郎賞>、'00年 <優秀賞>
- 2001年 芸術祭典・京一公募「京を創る」-仁和寺 (京都)
- 2004年 とよた美術展 (審査員賞) /豊田市美術館 (愛知) '07年 <優秀賞>
大分アジア彫刻展 <優秀賞> /朝倉文夫記念文化ホール (大分) '12年 <優秀賞>、'14年
- 2006年 gallerism2006 /大阪府立現代美術センター
- 2009年 あさご芸術の森大賞展 <大賞> /あさご芸術の森美術館 (兵庫)
- 2011年 In Between—International Paper Art / The Wilfrid Israel Museum (イスラエル)
韓紙+和紙 韓・日現代美術展 / Schema Art Museum (韓国)
- 2013年 神戸ビエンナーレ 2013 アートインコンテナ国際コンペティション/メリケンパーク (兵庫)
- 2014年 村岡三郎へのオマージュ / galerie 16 (京都)
- 2017年 FACE 展 2017 / 損保ジャパン日本興亜美術館 (東京)

SASAKI, Masao 1964 Born in Kyoto City
1987 Graduate from Shiga University

Solo Exhibitions

- 1989 Shinanobashi Gallery, Osaka, '09, '10
- 1990 galerie16, Kyoto, '10, '12, '13, '16, '17, '18, '20
- 1992 Akiyama Gallery, Tokyo, '97, '98, '00, '15
- 2008 Contemporary Art Space Osaka
- 2015 Sabae Contemporary Art Center, Fukui
- 2016 Gallery Yamaki Fine Art, Hyogo
- 2019 MU Higashi-shinsaibashi Gallery, Osaka

Selected Group Exhibitions

- 1985 "Kyoto Independent Exhibition", Kyoto Municipal Museum of Art, ~'91
- 1992 "Hokuriku-Chumichi Art Exhibition", Ishikawa Prefectural Museum of Art, '94 <Fine Work Prize>, '95, '98
- 1993 "International Tannan Art Festival", ~'19
'94 <Hit Union Prize>, '96 <Excellent Prize>, '97 <Tsuchioka Hidetaro Prize>, '00 <Excellent Prize>
- 2001 "Kyoto Arts Festival", The Ninnaji Temple, Kyoto
- 2004 "Toyota Triennale", <Judge Prize>, Toyota Municipal Museum of Art, Aichi, '07 <Excellent Prize>
"Oita Asian Sculpture Exhibition", <Excellent Prize>, Asakura Fumio Memorial Hall, Oita, '12 <Excellent Prize>, '14
- 2006 "gallerism 2006", Osaka Contemporary Art Center
- 2009 "Asago Biennale", <Grand Prix>, Asago Art Village, Hyogo
- 2011 "In Between—International Paper Art", The Wilfrid Israel Museum, Israel
"Hanji+Washi Korea and Japan Contemporary Art Exhibition", Schema Art Museum, Korea
- 2013 "Kobe Biennale 2013 Art in a Container International Competition", Meriken Park, Hyogo
- 2014 "Homage to Saburo Muraoka", galerie16, Kyoto
- 2017 "FACE 2017", Sompo Japan Nipponkoa Museum of Art, Tokyo

